

はままつ 市議会だより

第202号

令和6年12月5日

身近な市議会を目指して



もくじ contents

◎9月定例会のあらまし	P2
◎市民向けシンポジウム	P3
◎可決した主な議案	P3
◎決算審査特別委員会の状況	P4
◎常任委員会の状況	P6
◎代表・一般質問	P7
◎地方創生特別委員会提言提出	P8

《雨雲》1998年(平成10年) 秋野不矩 作
秋野不矩美術館蔵

～秋野不矩美術館所蔵品展～
《有為転変》 変化してやまぬ創造の源Ⅳ ～理～より

市議会のくわしい情報、会議の映像は
ホームページで公開しています

浜松市議会

検索

スマートフォンはこちらから →



9月
定例会

5年度決算に対して6項目の指摘事項

災害対策の追加など総額53億円の補正予算を可決

9月定例会は、9月5日から10月25日までの51日間にわたって開催し、5年度決算や6年度一般会計補正予算、条例案、人事案件のほか、意見書などの審議を行いました。

◎議案上程

9月5日の本会議では、6年度一般会計補正予算、5年度企業会計決算など、27件の市長提出議案を上程し、所管の常任委員会に審査の付託をしました。



本会議での決算審査特別委員長報告

◎補正予算などを可決、決算上程

9月13日の本会議では、各常任委員長から審査の経過と結果が報告された後、1議員から一般会計補正予算など8件に対する反対討論があり、採決した結果、いずれも原案のとおり可決・認定しました。また、5年度一般・特別会計決算13件を追加上程し、決算審査特別委員会に審査の付託をしました。

◎代表・一般質問に7議員

9月25日の本会議では、4会派の代表議員が代表質問を、9月26日の本会議では3人の議員が一般質問を行い、市政の諸課題について市の考えをたしました。また、教育委員会委員選任、人権擁護委員候補者推薦の人事案件2件に同意しました。

◎追加議案上程

10月10日の本会議では、6年度一般会計補正予算1件の市長提出議案を追加上程し、採決した結果、原案のとおり可決しました。

◎5年度決算を認定、意見書を可決

10月25日の本会議では、決算審査特別委員長から審査の経過と結果及び決算に対する指摘事項（詳細は5ページのとおりのとおり）が報告されました。そして、1議員から5年度一般会計決算など4件に対する反対討論があり、採決した結果、決算13件をいずれも認定しました。また、議会提出議案として意見書4件を可決しました。

可決した意見書

意見書とは、国や県等が実施すべき事項について、議会の意思を意見としてまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに対して提出するものです。

◆地震財特法の延長に関する意見書

◆コロナウイルスワクチン接種の検証及び新ワクチン開発を求める意見書

◆いじめの現状に即したいじめ防止対策推進法の改正及び運用改善を求める意見書

◆教職員の人材確保及び学校の働き方改革に向けた業務適正化の推進を求める意見書

30日	26日	25日	24日		13日	12日	6日	5日		3日	2日	〔9月〕	29日	27日	26日	20日	5日	〔8月〕
決算審査特別委員会 (第2分科会)	本会議(代表質問)	本会議(代表質問)	議会運営委員会 大型公共施設建設 特別委員会	決算審査特別委員会 (全体会)	本会議(採決・決算 上程)	議会運営委員会	各常任委員会	本会議(9月定例 会開会・議案上程)	大型公共施設建設 特別委員会	大都市制度・行財政改革 特別委員会	地方創生特別委員会		議会運営委員会	議員定数のあり方 調査会	シンポジウム	各常任委員会	大都市制度・行財政改革 特別委員会	

議会活動の経過

市民とともに 議会のあり方を検討しました

8月26日、これからの浜松市議会について市民と一緒に考えるシンポジウムを開催しました。

基調講演では、法政大学の土山希美枝教授から、全国的に見た議会の現状や、市民と議会との距離感や信頼度などについて説明があり、議員・議会の役割について問題提起がなされました。

パネルディスカッションでは、市民に信頼される議会になるには、議会活動や市民が求める情報の発信が必要であるという意見が多く出され、来場者からは、どうすれば市民が議員を身近に感じることができのかを考える機会になったとの声をいただきました。

また、7月に実施した、市議会と議員に対する市民意識調査の結果を11月7日開催の「議員定数のあり方調査会」に報告。

調査会の活発な議論につなげています。

シンポジウム当日の動画を公開しています。



可決した主な議案

6年度一般会計補正予算 総額53億4700万円

- ◆新型コロナウイルスワクチン接種による健康被害認定を受けた人へ医療費などを給付 4億3539万円
- ◆河川・排水路のしゅんせつ、除草などによる浸水被害の軽減 1億3300万円
- ◆信号機の無い横断歩道等にカラー舗装、ラバーポール設置などによる歩行者事故防止 8750万円



カラー舗装による注意喚起(中央区積志町)

- ◆災害発生時に主要幹線道路の迂回路となる市道等を補強し市民の安全を確保 8000万円

- ◆巨大地震による市民の生命や財産の被害を最小限に抑えるため、旧耐震基準で建てられた建築物の耐震化に助成 5708万円
- ◆障害者就労施設の生産設備導入に助成し、障がい者の賃金向上の取組を促進 1510万円
- ◆旅行単価が高く長期滞在傾向にある訪日旅行者の受け皿となる旅行商品の開発・販売を通じて、市内における観光消費額の拡大を図る 243万円 など



太鼓づくり体験に参加する訪日外国人旅行者
提供: IN HAMAMATSU.com

29日	28日	22日	20日	15日	12日	7日	5日	11月	25日	24日	21日	17日	10日	4日	3日	2日	1日	10月
告・質疑・採決)	各常任委員会 議会運営委員会 本会議(委員長報告・質疑・採決)	本会議(11月定例会開会・議案上程)	地方創生特別委員会 本会議(11月定例会開会・議案上程)	各常任委員会 議会運営委員会	各常任委員会 議会運営委員会	議員定数のあり方調査会	地方創生特別委員会 議員定数のあり方調査会	地方創生特別委員会 議員定数のあり方調査会	本会議(採決・9月定例会閉会)	大都市制度・行財政改革特別委員会	危機管理・交通政策特別委員会 議会運営委員会	地方創生特別委員会 決算審査特別委員会(全体会)	本会議(追加議案上程・採決)	決算審査特別委員会(第2分科会)	決算審査特別委員会(第1分科会)	決算審査特別委員会(第2分科会)	決算審査特別委員会(第1分科会)	決算審査特別委員会(第1分科会)

決算審査

5年度決算について、決算審査特別委員会を設置して、2つの分科会で集中的に審査を行いました。

第1分科会

厚生保健委員会、市民文教委員会、
総務委員会（企画調整部、総務部、財務部、
ウエルネス推進事業本部など）

第2分科会

環境経済委員会、建設消防委員会、
総務委員会（デジタル・スマートシティ推進部、
カーボンニュートラル推進事業本部など）

●空き家対策事業について

質疑 予算額と執行額が大きく乖離するとともに、除却費用の補助実績が3件にとどまった理由は。

答弁 代執行による特定空家の解体工事の執行差金が生じたことに加え、申請件数が想定を下回ったこと、また、中古住宅として流通可能な物件を補助対象から除外したことによる影響と考えられる。

●浜松ウエルネスプロジェクト事業について

質疑 ヘルスケア産業の市場規模及び産業創出の支援状況は。

答弁 ヘルスケア産業は2050年には市場規模が59・9兆円に拡大していく産業である。

また、ヘルスケア産業創出には、官民連携プラットフォームの浜松ウエルネス推進協議会でのビジネスピッチの開催や、健康経営補助金制度の創設等により活性化支援を行った。

●高齢者施設等運営事業のふれあい交流センターについて

質疑 高齢者と子ども・子育て世代の交流事業の実績及びこども家庭部や指定管理者との連携は。

答弁 交流事業は40回開催し、こども家庭部や指定管理者とは、子育て世代を取り込む好事例の共有や、広報はままつ等での周知方法を統一することなどにより連携を図っている。

●ヤングケアラー支援推進事業について

質疑 市民向け講演会の参加者と課題は。

答弁 民生委員、主任児童委員など地域の支援者の参加が最も多かった。周知啓発によりヤングケアラーの理解を深めることが課題であり、ニーズに応じた柔軟な対応と関係機関との連携が重要となる。

●スクールソーシャルワーカー（SSW）配置事業について

質疑 人数及び本事業の課題は。

答弁 8年度までに全体で26人を目指し、5年度は17人を任用した。SSWは、社会福祉などの専門性を有し、教育分野に関する知識を必要とするため、人材確保が課題である。

●ごみ減量・リサイクル推進事業について

質疑 古紙拠点回収実証事業の検証結果は。

答弁 当該事業は、旧教育文化会館及び南土木整備事務所の2か所を回収拠点に、月2回、10か月間実施した。利用実績は旧教育文化会館が延べ114人・61トン、南土木整備事務所が延べ82人・22トンで、想定より少ない回収量であった。

●自転車等対策事業について

質疑 ザザシティ周辺の自転車等放置規制区域の取組状況は。

答弁 自転車等放置規制区域内は、自転車が放置されてから2日後に指導書を貼り、その2日後に撤去すること

としており、即日の撤去は実施していない。

●西鹿島駅周辺地区まちづくり検討事業について

質疑 西鹿島駅周辺のまちづくりについての考えと事業の現状は。

答弁 西鹿島駅周辺は都市計画マスタープラン等で地域拠点と位置づけている。西鹿島駅における利用者の安全・安心や利便性の向上のため、駅舎の耐震化及びユニバーサルデザイン化を重要な課題と捉え、現在は課題解決に向けて、鉄道事業者と整備の時期等について協議を行っている。

●公園施設長寿命化事業について

質疑 公園遊具の点検基準を、遊具メーカー

の耐用年数ではなく、日本公園施設業協会の定める標準使用期間としている理由は。

答弁 遊具の耐用年数は、設置場所の気象条件や利用頻度、管理の状況によって変わり、一律に設定できるものではないと考えている。標準使用期間を基準としつつ、定期点検や毎月の日常点検を行い、劣化の判断をしている。



決算審査特別委員会（分科会）

決算審査特別委員会 指摘事項

今後の予算編成や執行に反映されるよう、市に対し議会として指摘した内容は次のとおりです。



決算審査特別委員会全体会での採決

●民間資金調達の多様化について

医療、福祉、教育をはじめとする基礎的な行政サービスが適切に提供されることにより、住民の生活が保たれている。こうした基礎的な行政サービスを提供しているのは地方自治体であり、安全・安心な住民の日常を支え、これを次世代にバトンタッチするため、地方自治体が果たすべき役割は極めて大きい。物価高騰による市民生活の影響や、経済・金融市場における先行きの不確実性が高い状況が続いている中、本市の財政基盤から鑑み積極的な住民サービスの充実や経済活性化を図るため、さらに民間資金を調達すべきであったことを指摘する。

よって、時代の要請に応えるべく、新たな民間資金調達としてSDGs債の発行等、資金調達手段の多様化に取り組み、市民サービスの向上・充実や経済活性化を図ること。

●二輪車駐車場の適正な整備と運用について

自転車等駐車場における放置自転車の対策において、まちの景観を考慮した浜松駅周辺及び市街地中心部、また郊外では、事業自体や猶予日数など運用に違いがあり、結果、自転車の放置が改善していない。また令和5年度に市内73台の届け出がある特定小型原動機付自転車はキックスケーターのように小さいものから、四輪や全長の長いものまで存在するが、現状自転車等駐車場条例に明確な規定がないことを指摘する。

よって、放置自転車対策を主眼とする事業の適正な運用と、自転車等駐車場の整備及び条例への特定小型原動機付自転車の明確な位置づけを行うこと。

●廃棄物処理に関わる事業者に対する監視体制の強化について

本市は廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、排出事業者責任を原則とした適正処理が実施されるように排出事業者及び産業廃棄物処理業者に対する監視指導を行っている。

市としては処理の一環である収集運搬事業者に対しても監視責任を有するが、収集運搬に関しては、平成23年の法改正後、許可権限が県に移ったため、収集運搬事業者が把握されておらず、結果、監視業務が不十分であったと指摘する。

よって、廃棄物処理に関わる収集運搬を含む事業者に対して監視体制を強化すること。

●公園管理の改善について

公園管理事務所が管理する公園は741箇所ある。このうち樹木については、日常の巡視業務に加え令和5年度は公園・緑地危険木調査業務により危険木伐採業務を実施しているが、見落としが生じたことにより倒木があった。また遊具については「標準使用期間」で管理しているが、一部の公園では「標準使用期間」を超えても、一度も交換実績が無いなど、本市として子供を守る安全な遊具を提供するという姿勢が感じられない状態にあると指摘する。

よって、日常巡視や定期点検を強化するとともに、公園台帳のデジタル化の推進及び公園遊具の安全を担保する高い指針を示すこと。

●空き家対策事業の周知と推進について

令和5年度の空き家に関する苦情や相談は115件、市が把握している特定空き家は20件であった。空き家の増加による市民生活への悪影響は、地域課題として顕在化しており、当該事業の促進については、地域からの要望が増えている。空き家除却費用の補助対象は、中古住宅として流通可能なものを対象から除外したといえども、執行件数が3件にとどまった。当初予算として見込んでいた件数に大きく及ばなかったことは、当該事業の周知不足であったと指摘する。

よって、市民生活の環境向上に直接的に寄与することから、本事業の周知を図るとともに空き家対策の推進に努めること。

●自主防災隊活動への支援について

令和6年能登半島地震を受け、災害時における自主防災隊の活動への期待は高まっている。しかしながら、本市における令和5年度の避難所運営訓練については実施している隊は6%にも満たないこと等からも、自主防災隊の活動内容には差があり、有事の際の効果的な活動体制に繋がっているとは言い難い。好事例の横展開や自主防災隊に求める活動をもっと周知すべきであり、市として、自主防災隊の訓練への関わりが不十分であったことを指摘する。

よって、市として自主防災隊の自主性を尊重しつつ、具体的な方針を明確に示し支援すること。

常任委員会での6年度補正予算などの審査の概要です

総務委員会

●政策トライアル推進事業について
質疑 今回の増額補正は新たな事業を見込んでのものか。
答弁 既に予算配分済の4事業に加え、ドローンやタブレットの活用による災害状況の確認、希少野生動物の保護・展示を通じた命の大切さの啓発など、新たに申請が見込まれる事業があることから、補正予算を計上するものである。

●佐鳴湖公園用地借地解消事業について
質疑 今回の買収は何年で採算が取れるのか。
答弁 買収金額と現在の借地料から概算すると70年余りで借地料が上回る見込みである。借地である以上、所有者から返還を求められる可能性が残ること、また市の方針として借地解消を掲げていることから、引き続き借地解消に取り組んでいく。

厚生保健委員会

●電子カルテ情報共有サービスモデル事業について
質疑 本市の電子カルテの統一化に向けた展望は。
答弁 浜松医科大学医学部附属病院及び浜松医療センターの2病院で開始するモデル事業は、救急医療の体制に役立つと考える。市内7つの2次救急病院への拡大を見込むとともに、佐久間病院についても連携していきたい。

●新型コロナウイルスワクチン接種に係る予防接種健康被害救済事業について
質疑 申請から給付決定までの見込期間は。
答弁 市による書類精査の後、市の健康被害調査委員会の審査意見を、県を通じて国に達する。ワクチン接種との因果関係は国が最終的な判断をするが、全国的な申請件数の増加に伴い認定結果が出るまでに平均568日かかっている。

環境経済委員会

●海外戦略推進事業について
質疑 コロナ禍前は中国からの旅行者が多かったが、現在の状況はどうか。
答弁 5年度の外国人宿泊者数はコロナ禍前の元年度に比べて3割程度となっており、一番のボリュームゾーンだった中国の団体客数の戻りが遅い。一方、オーストラリアからの宿泊者数は、元年度に比べて倍以上となっており、インバウンドの地域が多様化している状況である。

●観光コンテンツの選定に当たり、専門家に依頼することだが、どのように進めるのか。
答弁 これまで掘り起こしてきた観光資源を、どのように高付加価値化することができるのか、という観点で専門家に助言をもらいながら、上質で特別な体験型の観光コンテンツを選定していく。

建設消防委員会

●住宅・建築物耐震改修事業について
質疑 地震に対する危機感や、耐震改修に対しての関心の高まりを背景に、申請件数が増加しているものと思われるが、これまでの相談や申請の状況はどうか。
答弁 能登半島地震以降、相談が増加している状況にあり、これまでに500件を超える相談が寄せられ、400件を超える申請を受け付けた。

●河川維持修繕事業について
質疑 出水期後に行う除草やしゅんせつについては、上流からの流木や災害の発生による廃棄物なども含めて除去しながら、環境との両立を行うことが重要ではないか。
答弁 今後、秋から冬にかけて河川点検を実施する中で、上流からの流木の除去など、次の出水期に向けての準備を整えていきたい。

市民文教委員会

●外国語指導助手について
質疑 外国語指導助手（ALT）を2名増する効果は。
答弁 増員を予定する小学3、4年生では、現在年間35時間の外国語活動の時間中、12時間間にALTを配置しているが、2名増により15時間となり、外国人との会話やゲームによるコミュニケーションを養う機会を増やす効果がある。

●旧教育文化会館解体について
質疑 利用停止から解体開始まで9年を要した理由は。
答弁 今後の在り方を検討した期間に加え、安全な解体工事に必要な仕様の調整・設計等に時間を要したためである。



解体工事が予定される旧教育文化会館

代表質問

9月25日には、会派を代表して4人の議員が質問を行いました



自由民主党浜松
須藤 京子

外国人材の子ども受入
れに教育環境の整備を

質問 今後増加が見
込まれる外国人住民へ
の教育のため、インタ
ーナショナルスクール
誘致の考えはないか。

答弁 外国人労働者数
は増加傾向にあり、子
どもの帯同も増えてい
るため、教育問題の取
組は重要と考えている。

今後、インドの大学
等を通じ、高度外国
人材の受入に向けたネ
ットワークを構築して
いく。インドの方は、
家族帯同での来日が多
く、子どもの教育に熱
心であると認識してお
り、本市が選ばれる都
市になるためには、暮

らしの満足度を上げる
環境整備が重要である。
幼少期から英語で授業
を行うインターナシヨ
ナルスクールは、高度
外国人材の受入に必
要不可欠であることか
ら今後、スクールの誘
致に向けて積極的に取
り組んでいく。

その他の質問

- ①障がい者の地域活動
参加に必要な取組を
- ②水道料金改定は市民
が納得する説明を
- ③学校体育館に空調設
備導入の考えは



体育館に設置するスポットクーラーの導入例



市民クラブ
岩田 邦泰

動物園などでの脱炭素
の取組は

質問 動物園やフラワ
ーパークで生物多様性
の維持を目的に、脱炭
素を訴求、実践する考
えはないか。

答弁 両施設では、照
明のLED化などに既
に取り組んでいるが、
さらにフラワーパーク
では生物多様性のサス
テナブルガーデンを新
設して廃棄物の削減に
取り組み、動物園では
害獣として駆除し皮等
がついた鹿肉を飼育動
物に与える屠体給餌に
より、間接的な森林保
全施策を実施している。
今後は、フラワーパ
ークで出た剪定枝や動

物園で廃棄物として処
理する糞などについて、
資源循環に資する最適
な処理方法を検討する
とともに、来園者が講
座や動植物の展示解説
を通じて気候変動や生
物多様性の危機などの
環境問題について学べ
るよう取り組んでいく。

その他の質問

- ①議会改革に市長が期
待することは
- ②公園緑地でロボット
草刈り機の活用は
- ③スマート農林業技術
の課題と対応策は



動物の排泄物を利用した堆肥から餌の野菜を
作る循環型農園の例(北海道旭山動物園)



創造浜松
森田 賢児

選定療養費の適用で救
急医療体制の強化を

質問 救急需要の増加
を抑制するには、救急
車の適正利用を促す必
要があることから、救
急車で搬送された患者
に選定療養費を適用す
る考えはないか。

答弁 選定療養費の適
用を導入している松阪
市で救急搬送件数が減
少した一方、救急相談
ダイヤルの相談件数が
大幅に増加しているこ
とから、相談体制の充
実が必要と考える。ま
た、茨城県が6年12月
に実施を予定している
ことから、導入後の搬
送件数や電話相談の状
況など、重症者が適切

に搬送されているか
について情報収集を進め
たい。
今後は、救急医療体
制の強化に向け、関係
機関との協議を継続す
る中で、選定療養費の
適用も検討し、持続可
能な体制の構築を進め
ていく。

その他の質問

- ①水道料金の低所得者
世帯への減免を
- ②今後の組織運営と職
員マネジメントは
- ③教育における家庭の
位置づけと関わりは



高規格救急自動車



公明党
松下 正行

不登校児童・生徒の社会的自立に向け支援を

質問 不登校児童・生徒が相談・指導を受けた日数を指導要録上の出席扱いとするガイドラインを作成する考えはないか。

答弁 不登校児童・生徒が学校外の団体や自宅などで学習を続けた努力を評価し、社会的自立に向けた支援をしていくことは重要と考える。

元年に国から、保護者と学校との連携・協力関係や民間施設での相談・指導状況などについて、一定の要件を満たす場合、校長が教育委員会と調整し、指導要録上出席扱いとすることができると通知された。しかし、校長として判断に迷う場合や学校ごとに判断に違いが出る場合があるため、今後、判断を行う際に目安となる出席扱いについてのガイドラインを作成していく。

その他の質問

- ① 高齢者福祉施設へ大規模修繕の助成を
- ② 学校体育館に空調と停電時の発電設備を
- ③ ドローン活用拡大の方向性は



活用拡大が期待されるドローン

一般質問

9月26日には、3人の議員が質問を行いました



北島 定
日本共産党浜松市議員

遠州灘海浜公園開発の土地利用方針の考えは

質問 多目的ドーム型スタジアムを含む遠州灘海浜公園篠原地区の開発は、災害リスクのあるエリアでの開発を抑制する本市の土地利用の基本方針に反しないか。

答弁 当該地区は防潮堤の完成により安全性が飛躍的に向上したと認識している。計画施設は災害対策を考慮した構造を検討しており、防災面に配慮した土地利用が図られるものと考えている。

また、都市計画マスタープランでは当該地区を「本市を特徴づけるみどりの拠点」と位置づけ、遠州灘海浜公園はスポーツ、レクリエーション等の利用を目的とした広域公園として都市計画に定めたことから、公園施設として整備することは土地利用方針に即したものと考えている。

その他の質問

- ① 高濃度のPFASの排出源の究明を
- ② 浜北温水プール休館の原因究明と再建を
- ③ 教職員が教育に専念できる環境の整備を



開発が予定されている遠州灘海浜公園篠原地区(中央区篠原町)



斉藤 晴明
市民クラブ

アクトシティ展示イベントホールで音楽祭を

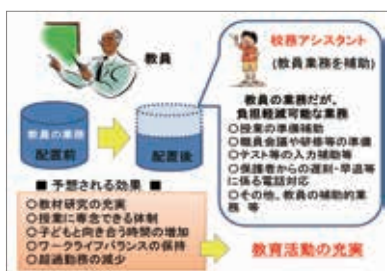
質問 若い世代の音楽文化振興の観点から、軽音楽祭などのイベントをアクトシティ展示イベントホールなど市中心部で開催してはどうか。

答弁 本市が音楽の都として発展するためには、軽音楽をはじめ多様な音楽分野を振興し、次代の音楽文化の担い手となる若者の活躍の場を創出することが重要となる。そこで、6年度は市内楽器メーカーなどから協賛や楽器の提供をいただき、中高生対象の軽音楽祭をスタートした。

今後も市民が協力し、若者が軽音楽を通じて創造性を発揮できるように協力体制を整えるとともに、将来的には展示イベントホールを若者音楽文化の発信拠点として若いミュージシャンが集う音楽あふれるまちを目指していく。

その他の質問

- ① 今切口東側地区へ高級ホテル等の誘致を
- ② 気軽に集え魅力ある蜷塚遺跡の再整備を
- ③ 実態に合った校務アシスタントの運用を



教員業務を補助する校務アシスタントの役割や効果



戸田 誠
自由民主党浜松

棚田を核とした地方創生を

質問 本市の久留女木、大栗安、白檀の棚田は国から、つなぐ棚田遺産の認定を受けていることから、地域の誇りの醸成や地域活性化のため全国棚田サミットを誘致してはどうか。

答弁 全国棚田サミットは、棚田の保全に関わる課題や先進事例などを共有・発信すること、関係人口を創出し、国民共通の財産を未来へつなぐため全国各地で開催されている。本市の久留女木地域においては、生産者確保の取組が高く評価され、8年度のサミット候補

地の一つとなっている。都市部から中山間地域までを包含する本市が開催地となることで、価値を相互に高め合う地方創生のモデルとして全国へ発信できることから、棚田3地域の理解・協力を得ながら誘致を目指していく。

その他の質問

- ① 将来を担う若い世代に地域愛の醸成を
- ② **Welcome集落事業**の申請単位は
- ③ 文化財の保存と活用のために体制強化を



横山八幡神社(天竜区横山町)の田楽面
浜松市指定有形民俗文化財

用語解説

※1 政策トライアル推進事業 (6ページ)

地域の課題解決や事業の改善にスピード感を持って対応するとともに、職員の積極的なチャレンジを促すため、ボトムアップによる試行的事業や調査などを実施できる制度。

※2 サステナブルガーデン (7ページ)

暑い夏でも寒い冬でも、多少体力が衰えても、無理なく長く美しい状態を保ち続けられる庭。丈夫な宿根草や多年草、球根植物を多く採り入れ、花が次々に咲くよう多品種を組み合わせて植える。通常花壇よりも植替えが少ないため、廃棄される植物も少なくなる。

※3 選定療養費 (7ページ)

初期診療は診療所などのかかりつけ医で行い、高度・専門医療は大病院で行うことを推進するため、紹介状なく200床以上の病院を受診した場合に、医療費とは別に負担する費用。

※4 Welcome集落事業 (9ページ)

人口減少や高齢化等の進行が著しい中山間地域において、集落の活性化に資する担い手確保のために集落の住民が主体となって積極的に移住者の受け入れに取り組む事業。

人口減少・少子化の課題解決に向けて提言書を提出しました

9月25日、地方創生特別委員会では、「子ども子育て支援及び少子化対策に関する提言書」を市長へ提出しました。

6月に実施した市民アンケートにおいて、約1万人から回答をいただき、市民の声として提言書に反映しました。内容は、回答の結果を踏まえて、子育てや少子化の不安解消、子育てに関する環境・施設の整備、金銭的な支援など7項目を要望しました。



提言内容は市議会HPから
ご覧いただくことができます。



中野市長へ提言提出の様子

発行／浜松市議会〒430-8652 浜松市中央区元城町103番地の2
編集／浜松市議会事務局
印刷／株式会社アプライズ



浜松市議会では、インターネットによる本会議・委員会のライブ中継と録画配信を行っています。このほか、市議会ホームページでは会議録（本会議・委員会）なども掲載しています。ぜひ御覧ください。



モンスーンの時季にはスコールが発生し、いくつもの雨雲がガンジス河の上空で鳥のように乱れ飛ぶ。彼方では嵐となっているのに、目の前の河では日が差し穏やかな姿を見せている。

不矩作品には俯瞰的な構図で描いた作品が比較的多い。天竜二俣の地で、天竜川を見下ろして幼少期を過ごした不矩にとって、この構図は天竜が育んだ造形感覚と言えるのかもしれない。

本作は、雨雲が河面におとす影を単純化し、自然の営み・命あるものの営みを象徴的な構成で表現している。雄大なガンジス河は、常に不矩を圧倒し続け、画家自身が抱いた強烈な印象と秋野不矩のヒューマニティを堪能できる作品となっている。

紙上美術館
No.188



秋野不矩美術館ホームページ

所蔵品展《有為転変》 変化してやまぬ創造の源Ⅳ ～ 理 ～

12月3日(火)～2025年1月13日(月・祝) ※12月29日～1月3日は休館

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は開館、翌日休館）



再生紙を使用しています



不要になれば、雑みとしてリサイクル

紙面に関するお問合せ
浜松市議会事務局 調査法制課
☎053-457-2513

今後の議会活動の予定

12月	5日	議会運営委員会
6日	本会議（代表質問）	
9日	本会議（一般質問）	
10日	本会議（一般質問）	
11日	本会議（一般質問）	
12日	各常任委員会	
19日	議会運営委員会	
20日	本会議（採決・11月定例会閉会）	